

Ⅲ 総括

1. 全体考察

■ 回答者について

回答者は60歳以上の高齢者の割合が高く、約4割を占めており、この傾向が全体の回答結果にも影響しているものと考えられます。また、約7割の人が、加古川市での居住年数が20年以上となっています。

職業については、「会社員、公務員」が約3割、「無職」が約2割となっています。通勤・通学をしている人のうち、通学・通勤先は、約5割が市内、残りが市外となっています。また、通勤・通学をしている人の約5割は、「自動車」を利用しています。

■ 定住意向について

6割以上の方が、加古川市での定住意向があると回答しています。女性よりも男性の方が、若年層よりも高齢者層の方が、定住意向が強い傾向がみられます。地区別にみると、野口地区において、最も強い定住意向がみられます。

定住意向がない人のうち、転居したい理由としては、通勤、通学に不便であることや、買い物環境が充実していないこと、景観・まちなみに魅力が少ないことなどが挙げられています。性年代別にみると傾向は異なり、30歳代男女では子育て環境の充実、60歳代男性では買い物環境の充実を求める声理由として挙げられています。地区別でも傾向は異なり、加古川西地区では希望する仕事や魅力的な職場を求める声が多く挙げられています。

また、市外への転居を希望する人のうち、転居先としては、神戸市を希望する人が約3割、明石市を希望する人が約2割となっています。女性では神戸市を希望する人が約4割となっています。

■ 満足度・重要度について

満足度では、「水道水の供給」や「下水道の整備」、「消防や救急・救命体制」などへの評価が高いものの、「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」、「地域内の道路の安全性や便利さ」などへの評価が低くなっています。

重要度では「安心できる医療体制」や「介護保険など社会保障制度の適正な運営」、「消防や救急・救命体制」などが上位となっています。

重要度が高い一方で満足度が低くなっている項目は「バスの便利さ」や「ポイ捨てやペットのふん害防止」、「地域内の道路の安全性や便利さ」などが挙げられます。

■ 防災対策・防犯対策について

防災対策として何の取組も行っていない人は約4割、防犯対策として何の取組も行っていない人は約3割となっています。防災対策よりも防犯対策について、家庭での取り組みをしているという割合が高くなっています。

■ 公共交通（バス）について

現在バスを利用している人は約1割となっています。男性よりも女性の方がその割合は高く、性年代別にみると、女性70歳以上が最も高くなっています。地区別にみると、野口地区、浜の宮地区で、その割合が高くなっています。

バスの利用目的は「普段の買い物」や「通院」が約3割となっています。地区別にみると傾向が異なり、両荘地区では「普段の買い物」や「通院」、「普段の用事」、加古川西では「外食・娯楽」、志方地区では「通勤・通学」がそれぞれ他の地区よりも高くなっています。

バスに対する不満としては、「運行本数が少ない」や「ちょうどよい時間帯のバスがない」が上位になっています。バスを利用しない理由としては、「他の交通手段を利用するから」が最も多く回答されており、他の交通手段の内容としては、「自家用車」や「自転車」が上位となっています。

■ 市民活動の参加状況・参加意向

市民活動に参加をしている人は、約2割となっています。女性よりも男性の方が、若年層よりも高齢者層の方が、参加している人が多い傾向がみられます。地区別にみると、両荘地区では約3割と他の地区と比べて最も高くなっています。

今後の参加意向がある人（「ぜひ、参加したい」「機会があれば参加したい」の合計）は約5割となっており、参加していない人の中にも、参加意向のある人がいることがわかります。また、性別では男性よりも女性の方が参加意向のある人が多く、年代別では70歳以上が他の年代よりも低い傾向にあります。

■ 市政に関する情報や「広報かこがわ」「加古川市のホームページ」について

約9割の人が、市政に関する情報については「広報かこがわ」から入手していると回答しています。町内会の回覧からという回答も多く、男性で約5割、女性で約6割となっています。

広報かこがわについて、約8割の人が『満足』（「満足している」「やや満足している」の合計）と回答している一方で、50歳代以下男性、30歳代以下女性では、読んだことがない人が約1割以上となっています。

市のホームページについては、「見たことがない」という人が約5割と最も多くなっています。加古川西地区では見たことがないという人が5割を超えており、他の地区と比べて最も高くなっています。

■ 市や居住地域に対する誇りや愛着の程度

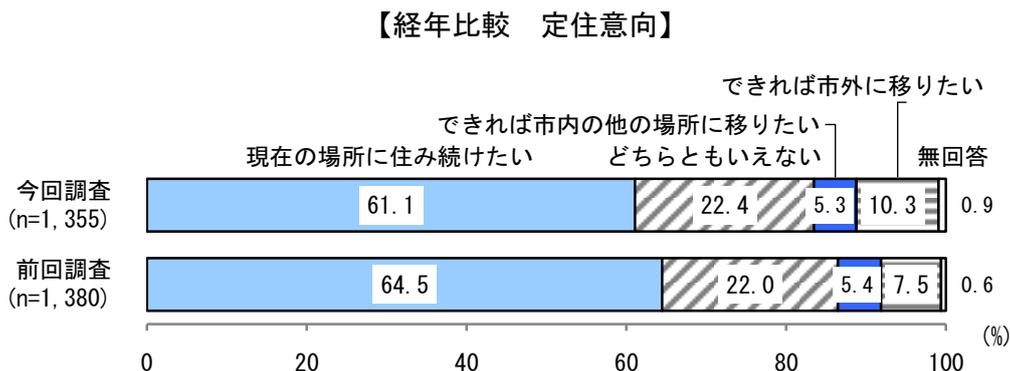
市や居住地域に対する誇りや愛着を感じている人（「強く感じている」「感じている」の合計）は約6割となっています。30歳代男女は、約5割が誇りや愛着を感じていない（「あまり感じていない」「感じていない」の合計）と答えており、他の性年代と比較して高くなっています。

2. 経年比較

アンケート結果の分析において、前回調査の結果との差異がみられた項目について、考察をまとめます。

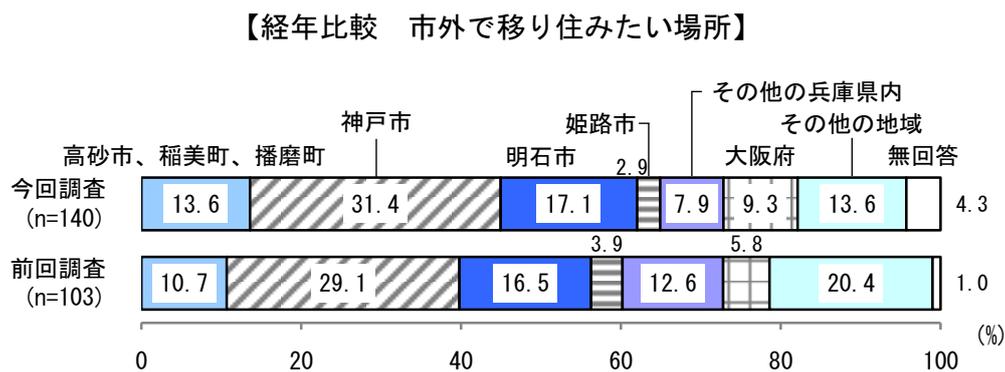
■ 定住意向について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリで「現在の場所に住み続けたい」が高く、今回調査では61.1%、前回調査では64.5%となっています。



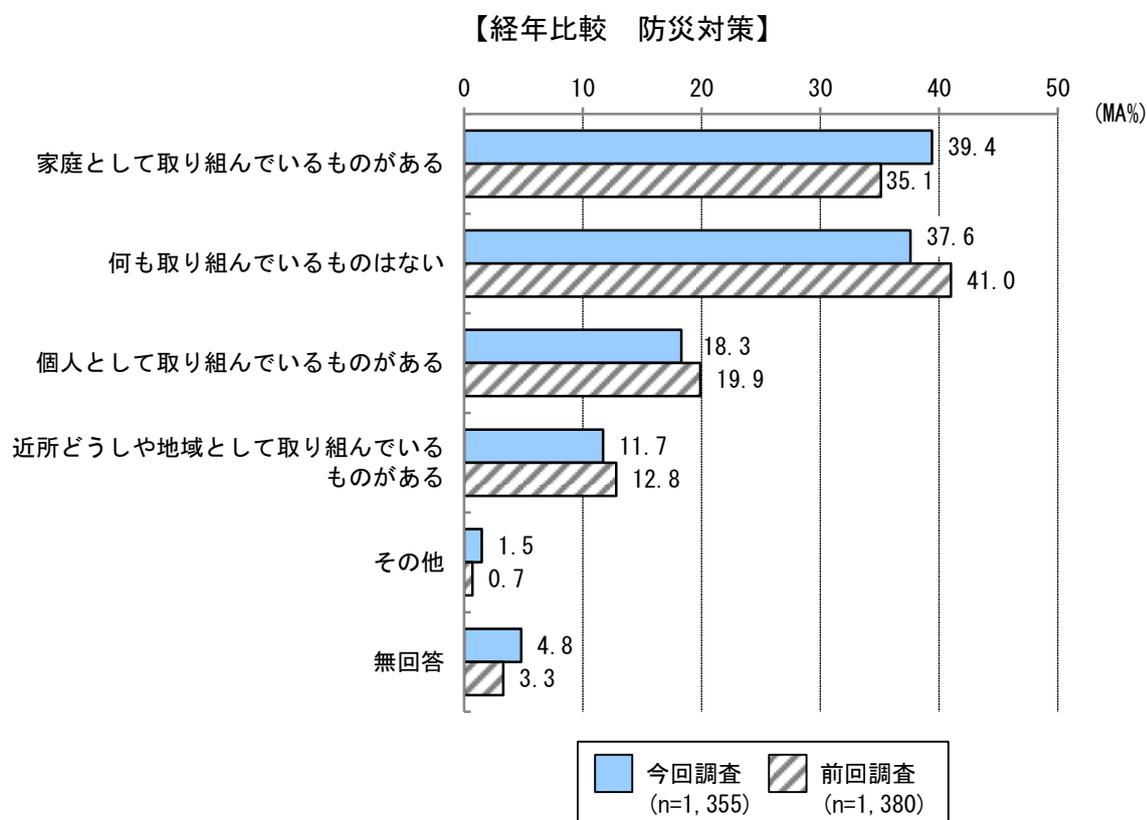
■ 市外で移り住みたい場所について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリで「神戸市」が高く、今回調査では31.4%、前回調査では29.1%となっています。



■ 防災対策について

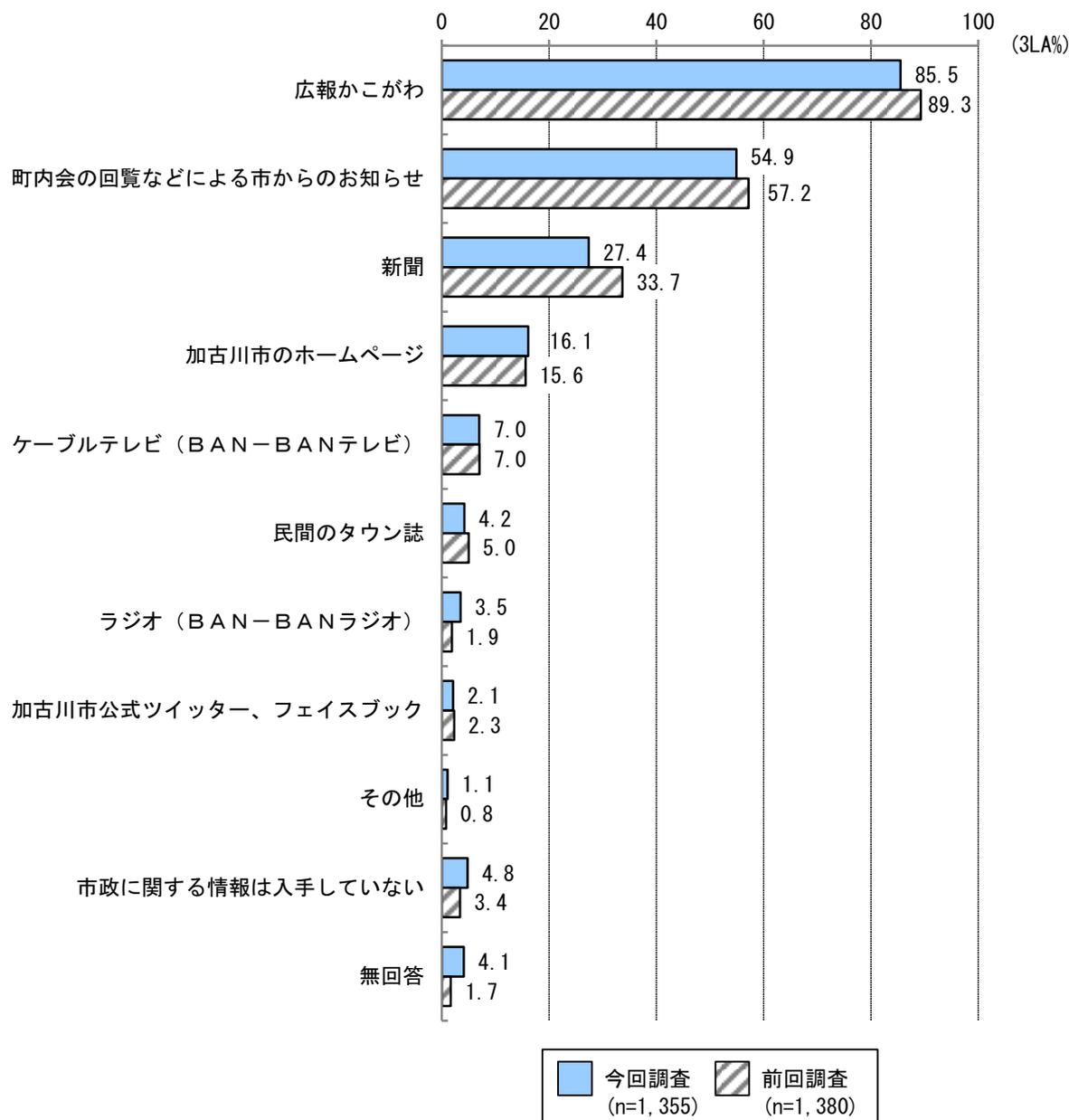
前回調査と比較して、今回調査では「家庭として取り組んでいるものがある」が39.4%と最も高く、前回調査では「何も取り組んでいるものはない」が41.0%と最も高くなっています。



■ 市政に関する情報の入手先について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリで「広報かこがわ」が高く、今回調査では85.5%、前回調査では89.3%となっています。

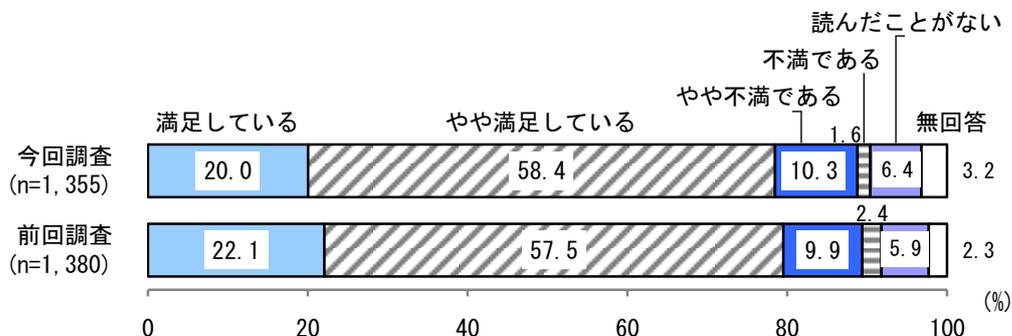
【経年比較 市政に関する情報の入手先】



■ 広報かがわの満足度について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリーで「やや満足している」が高く、今回調査では58.4%、前回調査では57.5%となっています。

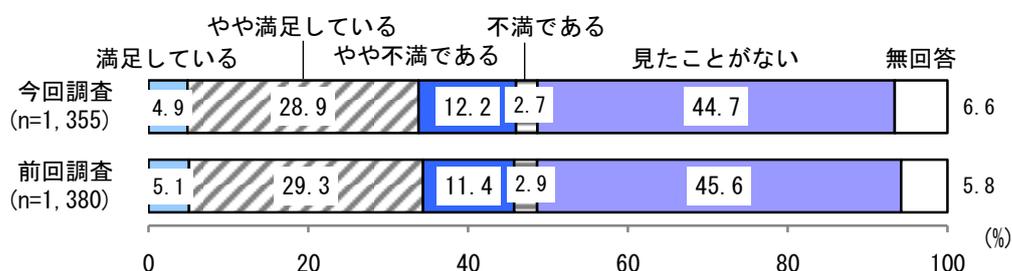
【経年比較 広報かがわの満足度】



■ 加古川市のホームページの満足度について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリーで「見たことがない」が高く、今回調査では44.7%、前回調査では45.6%となっています。

【経年比較 加古川市のホームページの満足度】



■ 郷土愛の意識について

前回調査と比較して、すべてのカテゴリーで「感じている」が高く、今回調査では54.5%、前回調査では51.2%となっています。

【経年比較 郷土愛の意識】

